

# 家庭学習の充実を図るための 指導ポイント



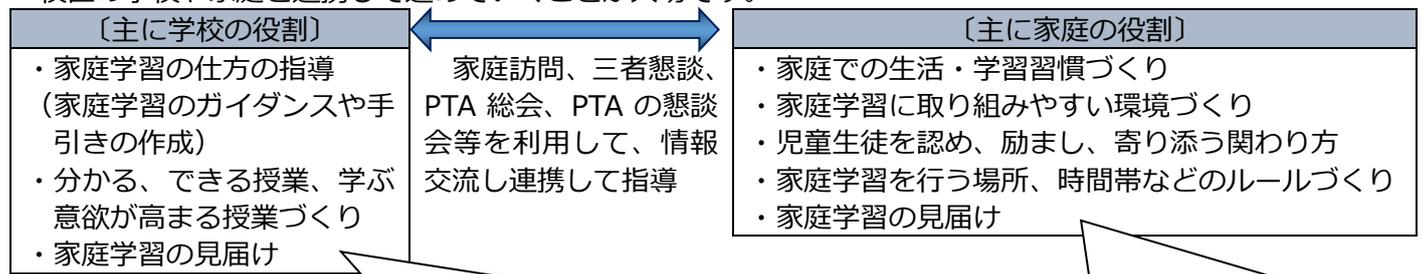
## ポイント 1 家庭学習を通して、育てたい児童生徒の姿を明らかにする

- 家庭での時間を有効に活用しようとする姿
- 自主的・計画的に学習を進めることができる姿
- 学校での学習での理解を深めていくために、自ら学んだり、自分の得意なことと苦手なことが分かり、自学自習したりする姿



## ポイント 2 小中連携、家庭と学校との役割分担など、協力体制を構築する

○児童生徒の実態に応じて、家庭学習の課題の出し方（量、質、内容、取組方等）や見届けの仕方を明らかにし、校区の学校や家庭と連携して進めていくことが大切です。



### ～その他の指導例～

- 家庭学習の内容について、家庭学習のノート展示やノートコンテストなど、よい取組は具体的に褒めて、他の児童生徒に紹介する。
- 校区で合わせた家庭学習取組強化週間等の設定をし、校区で連携した指導をする。
- 帰りの会等で、帰宅後の学習について計画し、翌日の朝の会で確認する。
- 個の学習状況に応じて、自主的・計画的に取り組める内容（苦手な部分を繰り返し取り組む等）を児童生徒に紹介する。
- 家庭での読書や新聞を読む等の文章を読むことのよさを児童生徒に紹介する。
- 教科学習 Web システム（小学校・算数）を活用する。

（例）家庭での暮らしに当たって ～家庭や地域で子どもを育てましょう～ ●●中学校

平成29年度の全国学力・学習状況調査「保護者に対する調査」から、下記のようなことが明らかとなりました。家庭や地域で、子どもの心を育て、学力を高めていきましょう。

### 1. 保護者の適切な働きかけは、子どもの「心」を育て、学力を高めます。

#### 【具体的な保護者の働きかけ】

- 子どものよいところを褒めるなど、自信をもたせるようにしている。(小、中)
- 子どもに努力することの大切さを伝えている。(小、中)
- 子どもに最後までやりぬくことの大切さを伝えている。(小、中)
- 毎日子どもに朝食を食べさせている。
- ボランティア活動等に参加するように促している。(中)

### 2. 子どもの学力が高い家庭の傾向

- 学校の出来事、友達や勉強と、将来の進路、地域社会のこと等会話が多い。
- テレビやビデオなどを見たり聞いたりする時間などのルールを決めている。
- 努力することや最後までやり抜くことの大切さを学んでいる。

★ 今後、子どもとの関わりで気を付けたいことや取り組みたいこと

## ポイント 3 授業を充実させ、家庭学習とつなげた指導に取り組む

○学校での授業と家庭学習とをつなぐ指導を大切にしましょう。

教科名	家庭学習の例
国語	授業で学習した漢字を使用して、文章や日記を書く。
社会	授業で学習した内容（時代・地域・事柄）について、教科書や地図帳を活用して調べ、ノートにまとめる。
算数・数学	授業で学習した解法を用いて、途中式を書いて、類似問題の解法の説明を書く。
理科	授業で学習した用語を用いて、身近な自然の現象や仕組みについての説明を書く。
英語	授業で用いた表現を使用して、英文を書く。

- ・単元や学習のまとめりで意図的・計画的に家庭学習を位置付け、授業の時間内でペアや全体で内容（分かったこと、できたこと、分からなかったこと、できなかったこと）を交流することも有効です。
- ・補助教材や学習プリントを有効活用するとともに、どのように児童生徒に家庭学習の課題を与えるかも大切です。  
「今日の授業で学習したことは、補助教材の○ページの問題です。今日みんなで考えた方法を用いて、家庭でも問題に取り組んでみましょう。」

